

2017 年度

12月11日、HBMS 地域医療経営プロジェクト
研究センターの設置が許可されました

県立広島大学は2016年4月、経営系専門職大学院経営管理研究科（横山禎徳研究科長）を開設しました。中国地方で最初のMBA学位が取得できるビジネススクールです。県立広島大学に新たに専門職大学院を開設するにあたり、もっと特徴のある広島という地域ならではのビジネススクールにしなければとの考えからヘルケアマネジメント、農業経営、中小企業経営など地域事情を反映するものをデザインすることとなりました。

このうちヘルケアマネジメントを担当するのは第1期生たちが2年生に進級して専門科目を学ぶ2017年に赴任した西田在賢氏です。同氏は静岡県立大学で第2代地域経営研究センター長及び初代医療経営研究センター長に就いて、静岡県内公的病院幹部に向けた経営人材養成に多大な実績を持ち、請われて県立広島大学のビジネススクールの教授として赴任しました。

県立広島大学では西田教授の赴任に合わせて2017年12月にヘルケアマネジメント人材養成を推進する機関として、正規過程のMBAコースとは別に「地域医療経営プロジェクト研究センター」の開設を許可しました。

センター長は西田教授が兼ね、「医療介護総合確保推進のための制度・政策や事業経営のマネジメント人材育成の研究と実践」を端緒に進めることとなり、このあとのページで紹介するような医療政策経営の公開セミナー HbpMS セミナー（2018年度）、広島県内公的病院院長が集うトップアカデミー（2019年度）、広島県内公的病院幹部を対象とした医療経営人材養成プログラム（2020年度）を企画開催して活動実績を重ねております。

プロローグ

2017年9月

参観講義「地域の医療介護総合確保のマネジメントを考える」

HBMSのヘルケアマネジメントの授業（集中講義）の一部を、県内の自治体及び医療介護機関の関係者が参観できる特別企画を実施しました。

<参観講義の内容>

地域医療改革の行方
医療介護総合確保推進
医療介護需給のマッチングを支援するITシステム
地域医療構想推進時における病院経営の在り方
医療システムデザインについて



講師陣は HBMS 教授陣に加えて、厚生労働省において地域包括ケアシステム構築の法令を監督された元老健局長、静岡県で医師会と協働して地域包括ケアを支援する情報システム開発の実績を有する企業の顧問、全国的に名の知られる病院経営コンサルタントなど、医療介護総合確保政策の推進に助言する第一人者が担当。

<参観者：43名>

広島県7名、広島市5名、三原市2名、府中市3名、庄原市3名、府中町2名、坂町2名、北広島町1名、大崎上島町1名、県内医療機関等関係者17名